

前ブリュージュ美術館組合理事長

ティル・ホルガー・ボルヒェルト氏 特別招待講演

Till-Holger Borchert, Former Director of Musea Brugge, Special Lecture

講演題目

ブルゴーニュ公領ネーデルラント及びヨーロッパにおける
ヤン・ファン・エイク 芸術の遺産 (1440-1470年頃)

The legacy of Jan van Eyck

in the Burgundian Netherlands and the rest of Europe, c.1440 – 1470

2022年3月5日(土) 16時～18時半

視聴方法：オンライン (Zoom)

コメンテーター：今井澄子 (大阪大谷大学教授)

企画進行・同時通訳：杉山美耶子 (日本学術振興会特別研究員 PD)

使用言語：日本語・英語

主催：科学研究費助成事業特別研究員奨励費 (課題番号 19J00314)

「中世末期ネーデルラントにおけるヴォーティブ・イメージに関する総合的研究」

後援：西洋中世学会 青山学院大学文学部比較芸術学科比較芸術学会

問い合わせ先：杉山美耶子 miyakosugiyama1129@gmail.com

◎参加希望の方は 2022年2月28日(月)までに

以下のフォームに記入を御願います。

開催前日までに Zoom リンクをお送りします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdoPGIYMycco94tff3qFKgujoB4R0wMhgOzGW63MSlcpEgkvQ/viewform?usp=sf_link



ヤン・ファン・エイク 《教会の聖母》、ベルリン、絵画館

Till-Holger Borchert

講演者略歴

ティル・ホルガー・ボルヒェルト

14世紀から16世紀の北方美術を専門とするドイツ出身の美術史家、学芸員。

ブリュージュのフルーニンへ美術館の主任学芸(2003-2014年)、ブリュージュ美術館組合理事長(2014-2021年)を務め、2022年4月よりアーヘンのズエルモン・ルートヴィヒ美術館長に着任予定。2010年、ブルゴニュ公領ネーデルラント美術のフランドル研究センター(Flemish Research Center for the Arts of the Burgundian Netherlands)を創設し、ヨーロッパとアメリカにて初期ネーデルラント美術に関する展覧会を多岐にわたって企画した。代表的な展覧会として、*Jan van Eyck, the Flemish Primitives and the Mediterranean World 1430-1530* (2002年); *Memling's Portraits* (2005年), *Charles the Bold* (2009年); *From van Eyck to Dürer: Early Netherlandish Art and Central Europe 1430-1530* (2010年), *Hans Memling and the Flemish Renaissance* (2014年)が挙げられる。

2020年に開催され、アポロ・マガジンより年間で最も優れた展覧会に送られるExhibition of the Yearを受賞した*Van Eyck: An Optical Revolution*にも携わった。メンフィス大学(アメリカ)の美術史部門にて客員研究員をつとめ(Hohenberg Chair of Excellence)、アーヘン大学とヘント大学、及びミドルベリー大学で教鞭をとる。中世末期からルネサンス期の美術に関して幅広い研究・執筆活動を行っている。



ヤン・ファン・エイクの追随者
《受胎告知》
モデナ、エステンセ・ギャラリー



フランドルの逸名写本装飾画家
「受胎告知」、『人間救済の鑑』
シカゴ、ニューベリー図書館、MS40.